

役員・評議員

理事長	加来正年	王子ホールディングス株式会社 代表取締役会長
専務理事	岩瀬広徳	元 日本製紙株式会社 副社長(常勤)
理事	安西祐一郎	東京財団政策研究所 所長、 日本学術振興会 顧問
”	廣川信隆	東京大学大学院 医学系研究科 特任教授
”	野沢徹	日本製紙株式会社 代表取締役社長
”	藤吉好則	東京医科歯科大学 高等研究院 特別荣誉教授
”	細野秀雄	東京工業大学 荣誉教授 元素戦略研究センター (特命教授)
”	磯野裕之	王子ホールディングス株式会社 代表取締役社長
監事	濱島明人	元 日本製紙株式会社 常任監査役
”	青山秀彦	元 王子ホールディングス株式会社 取締役
評議員	芦田昭充	株式会社商船三井 名誉顧問
”	伊賀健一	東京工業大学 名誉教授
”	岩村秀	分子科学研究所、東京大学、九州大学 各名誉教授
”	岡田明重	株式会社三井住友銀行 名誉顧問
”	小間篤	東京大学 名誉教授
”	進藤清貴	元 王子ホールディングス株式会社 社長
”	鈴木正一郎	元 王子製紙株式会社 社長
”	関谷剛男	(公財)高松宮妃癌研究基金 理事長
”	中野誠久	元 王子製紙株式会社 専務取締役
”	芳賀義雄	元 日本製紙株式会社 社長
”	長谷川昇	元 日本製紙株式会社 副社長
”	馬城文雄	日本製紙株式会社 取締役会長
”	矢嶋進	王子ホールディングス株式会社 顧問
”	山崎敏光	東京大学 名誉教授
”	山本信能	元 王子製紙株式会社 副社長

藤原科学財団の概要

設立： 1959年(昭和34年)5月1日
行政庁： 内閣府
基本財産： 17億98百万円(2022年3月末現在)
創立者： 藤原銀次郎

公益財団法人 藤原科学財団 定款(抄)

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人藤原科学財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都中央区に置く。

(目的)

第3条 この法人は、科学技術の振興に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の公益事業を行う。

- (1) 科学技術に関する功労者の表彰
- (2) 科学技術に関する普及・啓発・国際交流への援助
- (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人 藤原科学財団 (The Fujihara Foundation of Science)

〒104-0061 東京都中央区銀座 3-7-12
Tel (03) 3561-7736 Fax (03) 3561-7860
URL <http://www.fujizai.or.jp>

事務局長 矢田雅之

藤原科学財団の運営は、日本製紙株式会社、王子ホールディングス株式会社、読売新聞社の支援を受けております。

公益財団法人

藤原科学財団

2022年7月

設立の経緯と事業の展開

わが国の製紙王といわれた藤原銀次郎は、資源が乏しく、国土の狭い日本を、世界のトップクラスの科学技術国とすることを、終生の念願としておりました。

この実現の為に行った功績として、1938年(昭和13年)旧王子製紙株式会社の社長時代に3社合併(王子製紙、富士製紙、樺太工業)5周年を記念して、わが国の大学における科学教育充実の為、東京大学、東京工業大学、京都大学、早稲田大学他の主要大学に対して総額267万円(現在価値で約90億円)という当時としては破格の寄附を旧王子製紙株式会社として行ったのをはじめ、同年、旧王子製紙株式会社社長を退任した際、私財800万円(現在価値で約280億円)を投じて藤原工業大学(現在の慶應義塾大学理工学部)を創設したことなどがあげられます。

さらに、1959年(昭和34年)氏が90才の時には、将来のわが国の科学技術振興に寄与することを目的として、私財1億円を寄附して「藤原科学財団」を設立し、初代理事長に読売新聞社社主の正力松太郎氏が、選考委員長には東京大学学長の茅誠司氏が就任されました。

この藤原銀次郎の意思を実現する為、藤原科学財団では、「藤原賞」、「藤原セミナー」の2つの事業を行っております。

「藤原賞」は、わが国の科学技術の発展に卓越した貢献をした科学者を顕彰し、副賞賞金を贈るというもので、1960年(昭和35年)に第1回の贈呈式を行いました。

その後、1975年(昭和50年)から、年2件副賞各1千万円として、2022年(令和4年)には第63回を迎え、受賞者総数129名、副賞額累計は10億円に達しています。

「藤原セミナー」は、1973年(昭和48年)に旧王子製紙株式会社創業100周年記念事業の一環として、同社から分かれた王子製紙株式会社(現王子ホールディングス株式会社)、十條製紙株式会社(現日本製紙株式会社)など16社から、5億円の寄附を受け、1974年(昭和49年)から毎年国際セミナーの開催を援助することとしてスタートしました。

2021年(令和3年)迄に78回の藤原セミナーを援助し、援助額累計は7億3千万円になっています。

現在は開催援助件数を年間2件以内、開催援助額総額年間24百万円以内(1件12百万円以内)で募集しており、更に募集するセミナーの開催対象期間を1年間延長して2年間とし、応募者がセミナーの企画をしやすい様にする等、一層の充実を図っております。

現在わが国がおかれております厳しい社会・経済環境を

考えますと、科学技術の発展はますます重要になってきます。戦前の旧王子製紙を引き継いだ、現在の日本製紙株式会社と王子ホールディングス株式会社から財政的支援を、読売新聞社から広報面での支援を受けて、藤原銀次郎翁の財団設立の精神に基づき運営を続けてまいります。

事業の概要

1. 藤原賞

〈趣旨〉 科学技術の発展に卓越した貢献をした日本国籍を持つ功労者に記念賞として藤原賞を贈り表彰する。

- | | |
|------------|--|
| (1) 受賞対象 | 自然科学分野に属する基礎科学及び応用科学 |
| (2) 賞の内容 | 年2件
賞状、賞牌(金メダル)、副賞(各1千万円) |
| (3) 推薦依頼先 | 国立・公立・私立大学、関係学会・協会・研究機関および学識者 |
| (4) 推薦受付期間 | 毎年10月1日～12月15日 |
| (5) 選考方法 | 5分科(数学・物理、化学、工学、生物・農学、医学)に分類し、選考委員(別掲10名)と分科会委員(約15名)により、選考する。 |
| (6) 贈呈式 | 6月17日(藤原銀次郎の誕生日)
休日の場合は前日 |

2. 藤原セミナー

〈趣旨〉 わが国の研究者が計画、主催する学問的に水準の高い国際セミナーの開催に必要な経費を援助する。

- | | |
|-------------|---|
| (1) 対象分野 | 自然科学の全分野 |
| (2) 応募資格 | わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者 |
| (3) 開催件数 | 毎年2件以内 |
| (4) 開催費用援助額 | 1件12百万円以内
(合計24百万円以内) |
| (5) セミナーの要件 | |
| ① テーマ | なるべく基礎的なもので、関連分野の発展に寄与するもの
原則、二国間会議、定期的に行われる国際会議、および、その準備会議、サテライト会議は対象としないが、「藤 |

② 参加者

③ 開催対象期間

④ 開催地

⑤ その他

(6) 応募受付期間

(7) 選考方法

原セミナー」として意義がみとめられる場合は採択候補とする。

50～100人程度とし、外国人研究者が1/5程度参加すること

募集翌年の1月1日～翌々年12月31日
開催は日本国内とし、期間は2～4日間とする

参加者は原則として期間中起居を共にし、自由な雰囲気の中で学問的な交流と、人間的接触を深めること
毎年4月1日～7月31日

藤原セミナー委員会
(藤原賞選考委員のうち委員長および常任委員が兼務)で選考する

藤原賞選考委員

委員長	廣川 信隆	東京大学大学院 医学系研究科 特任教授
常任委員	小林 誠	高エネルギー加速器研究機構 特別荣誉教授
〃	中村 栄一	東京大学大学院 理学系研究科 特別教授
〃	細野 秀雄	東京工業大学 荣誉教授 元素戦略研究センター (特命教授)
〃	藤吉 好則	東京医科歯科大学 高等研究院 特別荣誉教授
委員		
分科主査	川上 則雄	京都大学大学院 理学研究科 教授
〃	塩谷 光彦	東京大学大学院 理学系研究科 教授
〃	岡 浩太郎	慶應義塾大学 理工学部生命情報学科 教授
〃	喜田 聡	東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授
〃	宮園 浩平	理化学研究所 理事 東京大学大学院 医学系研究科 卓越教授